

富里市の新たな公共交通

富里市地域公共交通計画 【計画期間】令和4年度から令和8年度まで

- 鉄道駅のない本市において、充実した市民生活における移動手段を確保するため、地域にあった公共交通体系の構築による市民ニーズにきめ細かに対応するために、本市では、はじめての富里市地域公共交通計画を策定し、計画的な取組の実施と進行管理・見直しを行いながら、成長するプランとして持続可能な交通サービスへ前進していきます。

将来像

暮らしを守り、
みんなで支え、
未来へとつなぐ持続可能な交通体系

暮らしを守る

- 市民の暮らしといのちを守るため、市民のニーズや、地域の実情に即した公共交通体系を構築します。

みんなで支える

- 市民、交通事業者、行政が抱える課題について共通認識を持ち、地域一体となって取り組む体制づくりに向け、実効性のある施策を設定します。

未来へつなぐ

- 既存の公共交通の手段だけではなく、「地域における輸送資源を総動員」することで、持続可能な公共交通体系を構築します。

目指すべき姿 1

将来を見据えた
公共交通体系の構築

目指すべき姿 2

地域全体で支える
公共交通の構築

目指すべき姿 3

分かりやすい
情報提供の実現

持続可能な地域交通

問合せ先

担当 企画財政部企画課企画班

担当者 土屋、渋谷

電話 0476-93-1118 【直通】

FAX 0476-93-9954





富里市地域公共交通が目指す 1 2 の柱

地域全体を見渡し、市民のニーズにマッチした、富里市に合った最適な公共交通を目指します。

事業 1
民間バス
の
路線維持・拡充

事業 2
さとバス
の
見直し

事業 3
デマンド交通
の
拡充

事業 4
交通ネットワーク
の
強化

事業 5
福祉移送サービス
の
充実

事業 6
スクールバス
の
見直し

事業 7
成田空港
への
アクセス

地域参加による、地域が自らデザインする持続可能な公共交通を目指します。

事業 8
地域主体による
新たな公共交通の
導入に向けた
取組

事業 9
交通事業者と
連携した新たな
交通システムの
展開

事業 10
富里市独自の
モビリティサービス
の
検討

公共交通への市民の理解や関心を高める仕組みの構築を目指します。

事業 11
利用促進の
ための
意識醸成

事業 12
モビリティ
マネジメントの
実施





1 2の柱のうち 市民の足として 御利用いただいている
さとバスの見直しとデマンド交通を拡充します。

1 さとバス・【現】デマンド交通 ⇒ 【新】デマンド交通

- 本市では、平成27年度から、市内の主要施設を連絡する「さとバス・デマンド交通」の本格運行を開始し、民間路線バスやタクシーなどの公共交通を補完する役割を担ってきました。
- 市民の移動ニーズが多様化する中、ニーズに合っていない現状や高齢化への対応などの課題を解決するため、公共交通利用者等のニーズ結果を踏まえ、「さとバス」を新たなデマンド交通に転換するとともに、現デマンド交通の更なる充実を図ります。

子どもから高齢者まで全ての市民が利用しやすい、
高齢者にやさしい地域交通を目指して

さとバス
現デマンド交通



新デマンド交通
令和4年10月1日からの
運行を目指して調整中

【新デマンド交通の主なポイント】

- 乗降場所** 132箇所 ⇒ **【市内】** 既存バス路線を補完する形で、利便性の向上を目指し、きめ細やかに乗降ポイントを増設
- 【市外】** 市域に接する移動ニーズの高い、駅・病院・商業施設等を対象に拡大

運行日 平日 ⇒ 365日へ拡大 **運行時間** 9時間 ⇒ 12時間へ拡大

2 【実証運行】 ドア・ツー・ドア方式による【新】デマンド交通

- 高齢化が進む中、高齢者にやさしい地域交通を目指し、ニーズ調査でも意見の多いドア・ツー・ドア方式について、実証運行による検証を行います。

【ドア・ツー・ドア方式のデマンド交通のポイント】

対象者 75歳以上又は65歳以上で免許を持っていない方

